

### (3) 地域密着型通所介護について

#### 1. 地域密着型サービス運営委員会における審議内容について

- ・ 第6期町田市介護保険事業計画における地域密着型通所介護サービス事業所の新規整備計画数について
  - ①通所介護サービスにおける制度改正の内容
  - ②小規模な通所介護サービスの現状
    - ・ 市内の整備状況…4圏域、各支援センターすべてに整備されている状況
    - ・ 他市の状況 …八王子市や相模原市等の近隣と比較し、市内整備率高い状況
    - ・ 市内の利用状況…利用状況は5～6割（市外含む）であり、人数に換算すると残り3,253人が利用可能な状況（6期中の登録者の伸びは1,391人の予想であり、対応可能な見込み）
  - ③今後の小規模な通所介護サービスのあり方について
    - ・ 現状：充足していると考えられる
      - 6期は、原則みなし指定のみの整備とし、現状の70施設を上限としていきたい、地域密着型サービスとしての小規模な通所介護サービスのあり方の検討を実施

#### 2. 審議における主な意見や指摘

- ・ 小規模な通所介護サービスと大規模な通所介護サービスの役割分担が必要と感じる。
- ・ 特色や強みが無ければ、淘汰されていくサービスだと感じている。
- ・ 地域や利用者との関わりが密接になるため、医療ニーズへの対応可能だとよいと感じる。
- ・ 利用者との関わりが深くなるので、認知症への対応についても考えてほしい。
- ・ 入所を考える方は、大規模を利用されるが、小規模は比較的、在宅で最後まで過ごすことを望む方が多いのでは。
- ・ 看取りを行うなど、家族やその他横とのかかわりを密接に持てると良い。
- ・ 緊急時を含めて、家族と関係を深め、家族への支援を行えると良い。
- ・ 独自性だけでなく、自らの提供するサービスをケアプランに位置づけ、支援センターや他の事業所・サービスと連携をする、多職種連携を行ってほしい。
- ・ 現状をみると、通所介護サービスは充足しているように見えるので、積極的な整備は不要に感じる。今ある70相当くらいの小規模通所介護サービスの中で検討していけばよい。
- ・ 小規模な通所介護サービスが増えることで、定期巡回・随時対応訪問介護看護や小規模多機能居宅介護など、在宅介護において本当に充足すべきものが充足しなくなることは避けるべき。